

HDS030-08

会場:101

時間:5月26日 18:15-18:30

超高層ビルにおける緊急地震速報とオンサイト情報の利活用について Utilization of Earthquake Early Warning and On-Site Strong Motion to disaster mitigation for High-Rise Building

久保 智弘^{1*}, 久田 嘉章¹, 村上 正浩¹
Tomohiro Kubo^{1*}, Yoshiaki Hisada¹, Masahiro Murakami¹

¹ 工学院大学

¹ Kogakuin University

2009年6月1日より改正消防法が施行され、大規模建築物において、防火対策に加えて、震災などを想定した防災対策や防災訓練を行うことになったが、これまでの対応計画やシステムの多くでは火災を対象としたものがほとんどであり、地震災害を対象としたシステムが導入されている超高層ビルは多くない。

地震災害直後、超高層ビルなどでエレベータが停止するため閉じ込めへの対応や、さらに防災センターには、非常電話による情報や在館者からの問い合わせや駆け込み情報など多くの対応が必要と考えられる。しかし、超高層ビルの防災センターの職員は通常10名未満であるため、緊急地震速報やオンサイト情報を活用して、迅速な初動対応を行い、在館者に情報提供を提供することができる地震災害を対象としたシステムが必要となっている。

そこで本研究では、超高層ビルを対象として、迅速な初動対応が行えるように、緊急地震速報とオンサイト地震観測システムを利用した初動対応支援システムの構築を行った。また、構築したシステムを超高層ビルである工学院大学新宿キャンパスを対象に適用し、実際の防災訓練を通じて、その問題点や改善を行った。

防災訓練での検証した結果から、防災センター等から提供される情報を見聞きした際に危険回避行動などが十分にとれていなかったという問題が確認された。そのため、危険回避行動について、周知活動を継続的に行い、その効果と必要性について、確認を行った。

キーワード: 緊急地震速報, オンサイト情報, 地震防災訓練, 初動対応計画

Keywords: Earthquake Early Warning System, On-Site Strong Motion, Earthquake Disaster drill, Initial Response Plan